

10月16日(水) 本年度第15回(通算2701回)

## 地区大会報告

担当/理事会

12時30分～釧路プリンスホテル

### ■出席報告【会員総数66名 免除7名 出席計算に用いた会員数66名】

出席者 29名 本日の出席率 44%

### ■ニコニコ献金

- ・小野 寺英夫君……………地区大会お疲れ様でした。本日もよろしくお願ひ致します
- ・佐渡 正幸君……………本日の例会、石井副会長、萩原エレクト、坂入プログラム委員長よろしくお願ひ致します。
- ・坂入 信行君……………地区大会お疲れさまでした。本日よりお願ひ申し上げます
- ・中村 祐昭君……………パークゴルフ、ご苦労様でした
- ・高橋 貢君……………地区大会お疲れ様でした

### ■会長挨拶

《小野寺会長》



みなさんこんにちは。

台風26号が夕方に釧路に接近するという事で、充分注意していただきたいと思います。

「ロータリーの目的」の第1項に、「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」とあります。

先週末3日間の地区大会は、葎本ガバナーがふつか前に緊急入院というアクシデントにもかかわらず素晴らしい大会でありました。

ロータリアンの友情と、そしてなによりバイククラブの結束力を感じました。

「ロータリーの目的」「地区大会の目的」が十分に達せられた大会でした。

あとは一日も早い葎本ガバナーの回復とガバナー職への復帰を望みます。

### ■幹事報告

《佐渡幹事》



・先週開催されました地区大会の登録グッズがありますので、ご参加されていない会員は持って行ってください。

また、ガバナー公式訪問の際の記念写真が出来上がってますのでご購入ください。

・THE ROTARIAN 10月号が届いておりますので回覧します。

・10月19日、釧路北RACの例会の懇親会場が、ファイブスターに変更になっております。

## 地区大会報告



石井副会長



萩原会長エレクト



プログラム委員会 坂入委員長

### 地区大会報告 プログラム委員会 坂入委員長

地区大会参加皆様、お疲れ様でした。

今年度、プログラムをおおせつかりましたさかいりでございます！

それでは、私の担当の地区大会報告をさせていただきます

私は今回、地区大会の記念親睦ゴルフ大会をアシストするように命じられましたがコ・ホストとして地区大会のゴルフを仕切る立場に知らぬうちにさせられておりました、やはり、一人では無理ですので、萩原会員、佐渡幹事、岡田会員、妹背会員の4名、釧路北クラブの唯一の同好会である、もぐら会のご協力を仰ぎ、取り組ませて頂きました。

そして、何度かガバナー事務所で打ち合わせをさせてもらいましたが、事務所の空気感が5年前の足立パストガバナー事務所を思い出しました、なごやかな空気の中にもほとぼしる緊張感とイライラ感がとても懐かしく、またこんな私に、問われる多少の問いに答えたのも当時のガバナー事務所に詰めていた石井会員・今は退会された小林貢さんの教えとその経験をさせてもらっていた北クラブに感謝致します。

私の担当した記念親睦ゴルフ大会は参加13クラブ59名の登録で釧路カントリークラブ西・東、両コースに於きまして開催、当日、もぐら会の有志4名も朝6時半にはちゃんと会場にかけ付けくれ、さすがロータリアン、打ち合わせ通り取り組んで頂き、岡田会員の打ち上げ花火と共に大会はスタートいたしました。

当日は天候が危ぶまれており、何とか何とか思っておりましたが半分はもったのですがやはり折りかえしでシャワーを浴びているのかと思うくらいの雨に打たれ笑うしかない状態でした。

ゴルフは決行しましたが同日開催のパークゴルフは中止となり、懇親会でベイの成田会長がガバナーの涙だと思ってお下さいとおっしゃっておりました。

雨の中のゲームでしたが無事に皆様、怪我もなく、記念親睦ゴルフ大会は終える事ができましたが終えた余韻を感じる間もなくその後、すぐに3時から開催される地区指導者セミナーなるものに参加しなくてはならず、私をはじめ、佐渡幹事、萩原会員の3名は雨に打たれた体を温める間もなく、お風呂で隅々を洗う暇もなく、ゴルフ大会を仕切った段取りを味わう間もなく、国際交流センターへ

そして、小野寺会長はじめ、佐渡幹事、萩原会員と私は2500地区66RC、82名のロータリアンが集う地区指導者育成セミナーに参加させてもらいました。

そのセミナーは小船井パストガバナー仕切りで井上RI会長代理の挨拶からはじまり、RI会長方針に基づき、『ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を』もとに奉仕する、奉仕できる喜び

次年度からの未来の夢計画への対応、今、世界で一番元気と勢いのあるクラブとして友好地区からお招きした第3330地区タイ大国のサングアン・クナーボンさんのタイ大国を例に取ったお話を英語でされ、とても貴重なセミナーでした、となりを見ると小野寺会長・佐渡幹事・萩原会員が凛としたお顔でセミナー聴講されている姿を見るとその安心感のせいかに急に、かなしばりにあい、ふっと気づくとセミナーが終わり、折角、皆さんを代表して参加させて頂いたのに自分の知識に出来なかったことをこの場をかりて謝罪いたします、がしっかりと時の会長幹事・萩原会員は聴講しておりますのでご安心下さい！

そのセミナーが終わると私と萩原会員の一日目は終わりで会長幹事とそこで別れ見送る訳ですが、会長、幹事はRI会長幹事懇談会、晩餐会、姉妹地区歓迎会と続くわけですから本当に、ご苦労様です。

その2人を見送る、後ろ姿に私は温かいコーヒでもあげたくなかった事を覚えております。

そして、2日目ですが、午前中はロータリアンとして北クラブが一つになる瞬間、この瞬間が私は結構、好きで、今年度は10時33分でした、北川ガバナー補佐が7分区のクラブ紹介をし、各クラブがイヤ〜と応えるこの一瞬が本当に北クラブ会員が一つになり、他のクラブと盛り上がりで競う、子供心を思い出させてくれるこの瞬間があ〜地区大会だなあ〜と幹事させてくれるひと時だと、私は感じます

今年度、味わえなかった会員、まだ一度もその感覚を味わった事がない会員、うそか本当かはあなた次第ですが是非、来年は帯広ですので一度、味わっていただきたいと思います。

真面目なロータリアンのほんの遊び心をくすぐる瞬間だと思います。

その後、私は前日の記念ゴルフ大会の表彰式の段だりの為、萩原会員と景品の搬入を終えたあと、本線から離れ、懇親会での表書式の準備に入りました

懇親会ではよしもとガバナーの代わりに足立パストガバナーが挨拶し、R I 2520 地区のパストガバナーの乾杯で記念懇親会が始まりました、

私はこの懇親会が通常、全て友愛の広場だと思っておりましたがその捉え方はその年度、年度ちがう事を教えられました。祝宴に入り、ザ・ブラックビートルズと言う生バンドで盛り上がり、ステージ前では小船井パストガバナーはじめ、姉妹地区のキさんチンさん、リーさん、その令夫人達が踊る盛り上がりでした。

その祝宴の終盤に記念親睦ゴルフ大会の表彰という一番辛い時間での表彰式が組まれており、と言うのも生バンドが終わり盛り上がりもひと段落して、お腹も酒も満たされたら、一刻でも、早く夜の歓楽街に皆様、行きたくてしょうがなく、それは、それで歓楽街に従事している私にとってはありがたい話しですが表彰式を執り行っている側にとてはとてつらく、特別賞・優勝者、準優勝者のいるクラブ以外どんどんお帰りになる空気の中、表彰式を進めなければならないからですが表彰されるにこやかな会員の顔を見たら、そんな事はどうでもよくなりました。

今年度の成績は西コースの優勝は釧路南クラブの長倉きみひこ会員、東コースの優勝は釧路東クラブの佐藤きみとし会員と7分区が独占の結果となりました。

当クラブ参加の有志は萩原会員は3位、佐渡幹事は5位、私は10位、岡田会員は15位、妹背会員は21位と健闘頂きました。コ・ホストとしての役割、参加、健闘して頂き本当に有難う御座いました、この場をお借りして、お礼申し上げます。

しかし、次年度はやはり一人でも多くの参加を求め、この楽しさをともにもっと感じて頂ければと思います。

私の報告と役割はここまでですが、今回は担当させて頂き本当に有難うございました、体はぶっ壊れるかと思いましたが無事、こなせて、また、多くの皆様に協力、助けて頂いた事が一番がとても有り難く感じました。先にのべた4名のもぐら会の有志はもちろん、開催にあたり看板、成績表のお世話を頂いた、当クラブの本間会員も何度も鶴居カントリーを何度も往復してくれ、朝はやくから成績表を会場に張り出して頂き、本当に感謝します、有難う御座います

また、今回参加13クラブで11名の参加協力して頂きました釧路東クラブの皆様、会場の釧路カントリーのスタッフの皆様などなど、この大会には表に見えないいろいろな方がたずさわりの出来あがるものであると痛切に感じ、改めてロータリーの横のつながりに感謝すると共に沢山の皆様のご理解とご協力を仰ぐ事ができた喜びと奉仕できる喜びを感じた地区大会で合った事をあわせてご報告させて頂きます。

## 地区大会報告 石井副会長

私は3日目『記念講演』についてお話し致します。

当日は、一般の人も来場して、9時から始まりました。参加のロータリアンは少なかったようで、クラブ紹介時の1/5か1/6くらいだったと思います。

自分も朝、行くか行かないか迷いました。講演のタイトルも「野生動物との共生をめざして～猛禽類の救護と環境治療の最前線から～」となっており、動植物にあまり関心のある方ではないので、大会プログラムの講師紹介も、全く目を通していませんでした。「時々ある自然保護、環境保護といった話？」だのだろうとおもいながらも、講演会に参加いたしました。

しかし、もの見事に裏切られた、それは良い方に裏切られました。それは、話の内容はもちろんですが、「我々の身近に、こんなに頑張っている人がいるんだ」ということに、とにかく感動いたしました。それは、三浦雄一郎さんや金メダリストのように目立たないけれど、こういう人こそその仕事が、研究内容が、そして成果が評価されるべきだと思いました。

しかしながら、知らないのは私だけではなかったでしょうが、NHKのテレビ番組や（「プロフェッショナル仕事の流儀」「ソロモン流」）「NEWS ZERO」などの番組で紹介されて反響を呼んだそうです。

東宝映画「ウルルの森の物語」の主人公のモデルにもなった、本当は大変な人だったようです。

今回の記念講演会は、葎本ガバナーの「どうしても講師に迎えたい」との強い思いで実現した記念講演です。

葎本ガバナーの思いは伝わったと思います。

さて講演内容に少し触れたいと思います。講師は齋藤慶輔さん。獣医療研究機関 猛禽類医学研究所代表・獣医師さん。北斗の環境省釧路自然環境事務所の一角に間借りして、オオワシ、オジロワシ、シマフクロウなどいわゆる猛禽類の保護活動にあたっている方です。

足立ガバナーが謝辞で「人間の医療設備と同じだ」とおっしゃっていた治療設備（レントゲンや内視鏡など、これらは環境省のものではなく、すべて齋藤先生の研究所でそろえたもの、環境省は部屋だけを提供）を使って、ケガをしたり、病気の鳥の手術、治療を行なっております。死んで運ばれてきたものの死因を突き止めます。

死んで運ばれてくるもので多いのが鉛中毒によるもので、10数羽の死んだオオワシは、鉛の銃弾で死んだ鹿を食べて死んでしまいます。北海道では使われないようになってきていますが、本州などから来たハンターによるものではないかと考えられます。

猛禽類のケガ、死亡で多いものは次のものです。

- ※交通事故 エサを求めて川沿いに飛ぶ→橋の上で車とぶつかる→橋の両側に黄色い幟を立てる→鳥は幟の上を飛ぶので効果をあげている。
- ※列車事故 JRの車両とぶつかって線路脇によけられた鹿を食べているときに列車にはねられる→防護柵等が必要→いつ設置されるか？
- ※感電事故 電柱と伝染の両方に身体が触れて感電死→とまりにくくするために碍子（がいし）を縦にする、串を立てる→北電も停電の原因を防げるので協力的、効果をあげている。
- ※風車事故 風の流に乗って飛ぶので巻き込まれやすく羽にぶつかる→真っ二つ→色や音とか光とかで研究中

治療をして自然界に戻す。広い訓練場。

治療だけではなく、自然界に戻した鳥たちの行動を追いながら、環境治療（齋藤先生の造語）の材料としています。その中でも、自然界に戻れない鳥もいます。自然界に戻れない鳥は輸血に役立ったり、ケガや病気の原因究明の約に立っています。教育の生きた教材にもなります。

最後に、齋藤先生の好きな言葉をご紹介します「継続は力なり」です。

気負いの無い、それでいて自身に満ちた話し振りからも、コツコツと研究に取り組む齋藤先生の生き方が伝わってきた、非常に有意義な講演会でした。